



熊本市保育園連盟 保育士会

こんにちは！保育士会です



年度末の忙しい時期だからこそ、一緒に考えてみませんか？こどもたちのことを。

特に『こどもたちの人権』『一人ひとり』・・・保育の中で守れていますか？

要録に「一人ひとりの育ちの姿」・・・10の姿は達成目標ではありません。どう表現しましょう？

〈保育の安全研修会 報告〉

『子ども主体の保育と子どもの安全』～子どもの権利から考える保育の安全～

令和5年1月24日(火)国際交流会館／猪熊弘子氏（ジャーナリスト、名寄市立大学明福寺ルンビニー保育園副園長）

・「いのちを守る」とは？ いのち＝ひとりひとりの子どもの存在



子ども一人ひとりの存在を大切にし、守ること



園は子どもにとって安心して生きられる場所であること＝子どもの生きる権利

「ひとりひとり」をみるのが「いのちを守る」⇒「養護」の精神

大人がすべきこと

守るべきは からだの安全 + 心の安全

・「死を招いた保育」上尾保育所事件・・・本棚の中で4歳児が熱中症で亡くなる

日頃から子どもが入り出していることを子ども、職員は把握していた

給食が1つ余っていることから、子どもがいないに気づく

思い込みから園外を搜索、園長への報告なし

たぶん子どもたちはY君が入ったことを知っていた

↑・・・なぜ子どもたちが誰もY君のことを教えてくれない？

①子ども同士の関係ができていなかった・・・先生同士の関係× 親同士の関係×

②子どもが大人を信用していない・・・大人は理由を聞かずすぐ怒る 子どもたちを認めていない

原因は日常の保育、大人のコミュニケーション

・園バス熱中症、公園での置き去り、窒息、アレルギー

「くう、ねる、みずあそび」



アプリや機械があっても守れない

保育者が子ども一人ひとりの存在をきちんと確認できているか → 人数把握の方法は？

大切な子どもたちを守ることは職員一人ひとりの人生と園を守ること

・園内では同じような事故が繰り返される→ヒヤリハットを分析・園内の見取り図を！

起こさないようにするもの 子ども理解+保育の振り返りを

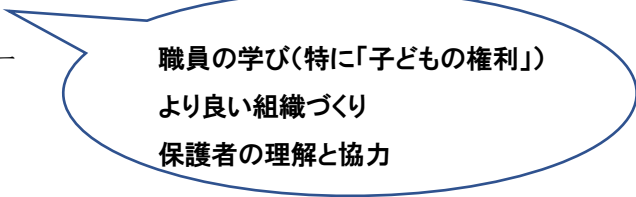
けがは子どものせいじゃない！ 「保育者がどうだったか」「どうすればよいか」

自園の常識を疑おう！・・・「子ども主体」の保育⇒「子どもの権利」を考える

子どもの声をきく

「やらせる」ではない、「放任」でもない、「放置」でもない、「やりたくない」も主体性

「共生」「共感」 発達や状況によっては、叱る、させるが必要なこともある



R5 年 1 月 26, 27 日(木, 金)新横浜プリンスホテル

こども家庭庁・・・保育の現場での当たりまえ（こどもファースト）が社会の当たり前になる！

子どもの最善の利益⇒「こどもまんなか社会」

少子化社会対策大綱

幼児教育の質の保障

多様性社会（ダイバーシティ）&インクルージョン ⇒ みんな違ってみんないい

性別、年齢、国籍、障がいの有無、人種・民族、出身地、身体的特徴などといった「自分の意思で変えることのできないもの」「自分の意思で変えることが困難な属性」に捉われず受け入れる

※子ども 保育関係の研修等

- ・熊本市保育所等職員合同「保育・教育」研修会（熊本市・熊本市保育園連盟共催）
令和 5 年（2023 年）2 月 28 日（火） 14：00～16：00 Teams によるオンライン
講師 中村学園大学教授 那須 信樹氏
- ・熊本市保育所等 職員合同「食物アレルギー研修会」
令和 5 年（2023 年）3 月 3 日（金） 15：00～17：00 Teams によるオンライン
講師 国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方美佳 先生
- ・熊本小児保健研究会（R5. 3/12. 日）WEB
特別講演内容・・・SDGs やこども家庭庁に関する話、
他・・・医療的ケア児、LGBT、子どもの貧困、子どもを取り巻くメディアについてなど
- ・発達支援研修（R5. 3/23(木) 午後の部（保育士等向け）、夜間の部（医療、療育、保育など他職種向け）
講師 町村純子先生（令和 3 年度 5 ブロック保育士会・給食部会合同研修講師）
- ・各ブロック主任保育士・主幹保育教諭会
令和 4 年度の報告、令和 5 年度の研修について

<保育要録について>

保育要録は、年長の担任が書くと思いますが、ここに記されているのは、長く保育・園の中で培われた子どもの成長の姿です。私たちが一人ひとりの育ってきた過程を振り返り、大事に育ててきた思いをお伝えするものです。

パンフレット 1 『養護と教育が一体となった保育とは』

～私たちは、子どもの命を育み、学ぶ意欲を育てます～

パンフレット 2 子どもの育ちの連続性を確保するために

～保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続をめざして～

いずれも全国保育士会よりダウンロードできます。要録と共にお渡しする、保護者にお渡しすることでなかなか理解しにく「保育における学び」を伝えるツールとしてご活用ください。

ひな祭り・・・多様性社会から考えたら。～調べてみました！

本来は男女を問わず、春を喜びの日でした。春を寿ぎ（ことほぎ）無病息災を願う行事として定着。

ちょうど季節の変わり目で、体調を崩しやすく、邪気が入らないよう沐浴して禊ぎをしていたそうです。そして災難や厄を人の代わりに受けてくれる人形を川へ流す「流し雛」が始まりだとか。

今のようなひな人形は、子どもたちのままごと遊びから始まったとか。



- ※ 遅い時間のドラマですが『リエゾン』ご覧になってますか？子どもたちの持つ凸凹、保育の現場でも気づいて対応できたら子どもたちが、保育が変わるかな～。子どもに熱い私たちの思いも、保護者や地域に伝えていきたいと思います。